

# こどもへの意見聴取の結果について

令和6年11月

さくら市こども政策課



# 調査概要

- 調査名 さくらっこ こどもアンケート
- 調査目的 「さくら市第3期子ども・子育て支援事業計画」に、こどもの意見を反映するため  
※こども基本法の規定でこどもの意見反映措置が必要
- 調査期間 令和6年10月7日(月)～25日(金)
- 調査方法 LoGoフォーム(インターネット)による回答  
学級活動の時間等を活用し、GIGAスクール端末で回答を依頼
- 調査対象者 市内に通学する小学5年生、中学2年生(10月1日現在)



## ■ 回収結果

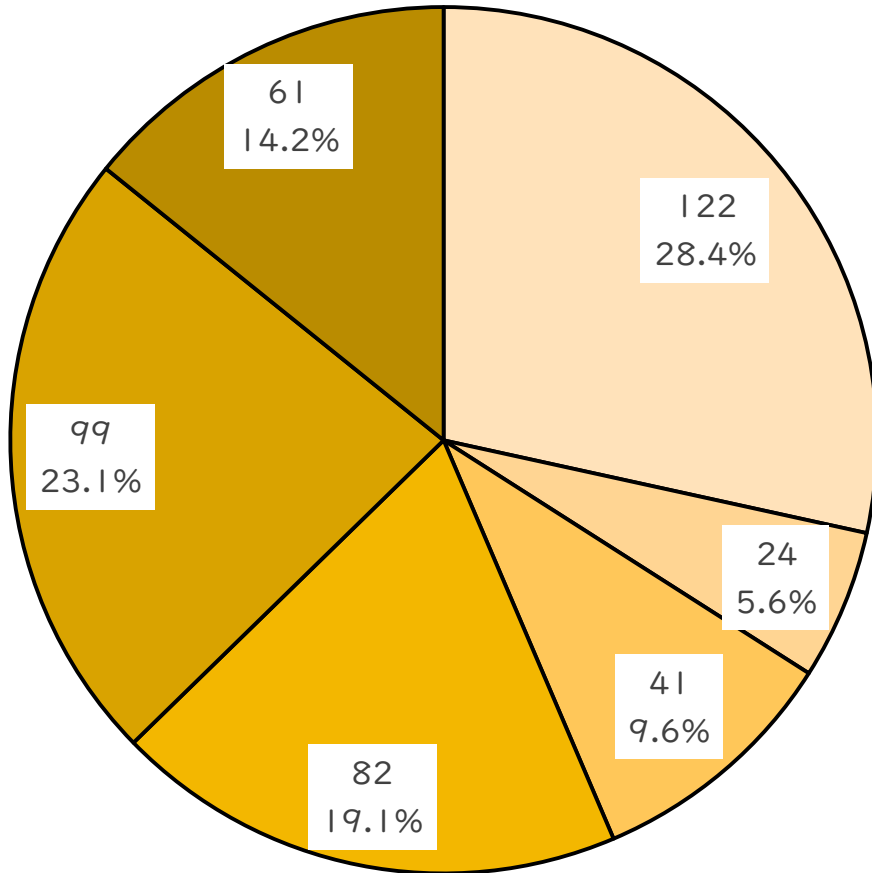
調査区分	対象者数	回答件数	回収率
小学5年生	403人	429件	100.0%
中学2年生	408人	340件	83.3%

※小学5年生の回答件数が対象者数を上回っているのは、同一人物による複数回答が含まれている可能性があります。

# 調査結果

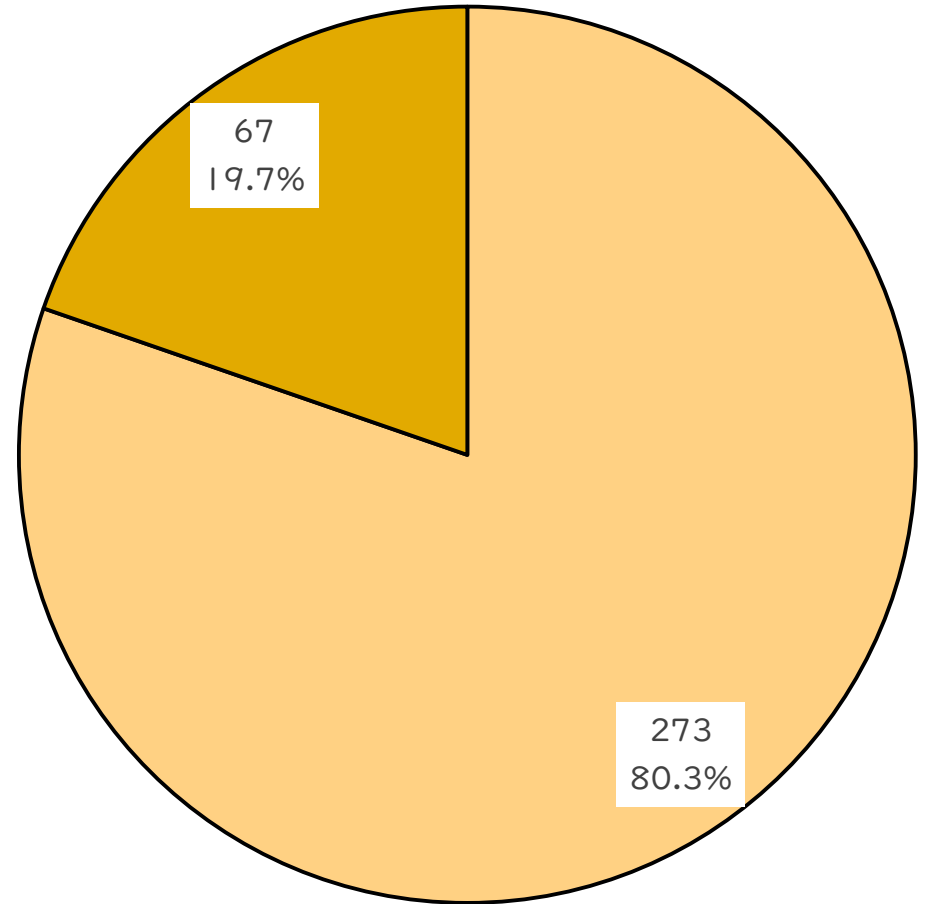
## 1. 学校別回答状況

小学5年生 n=429



氏家小 押上小 熟田小  
上松山小 南小 喜連川小

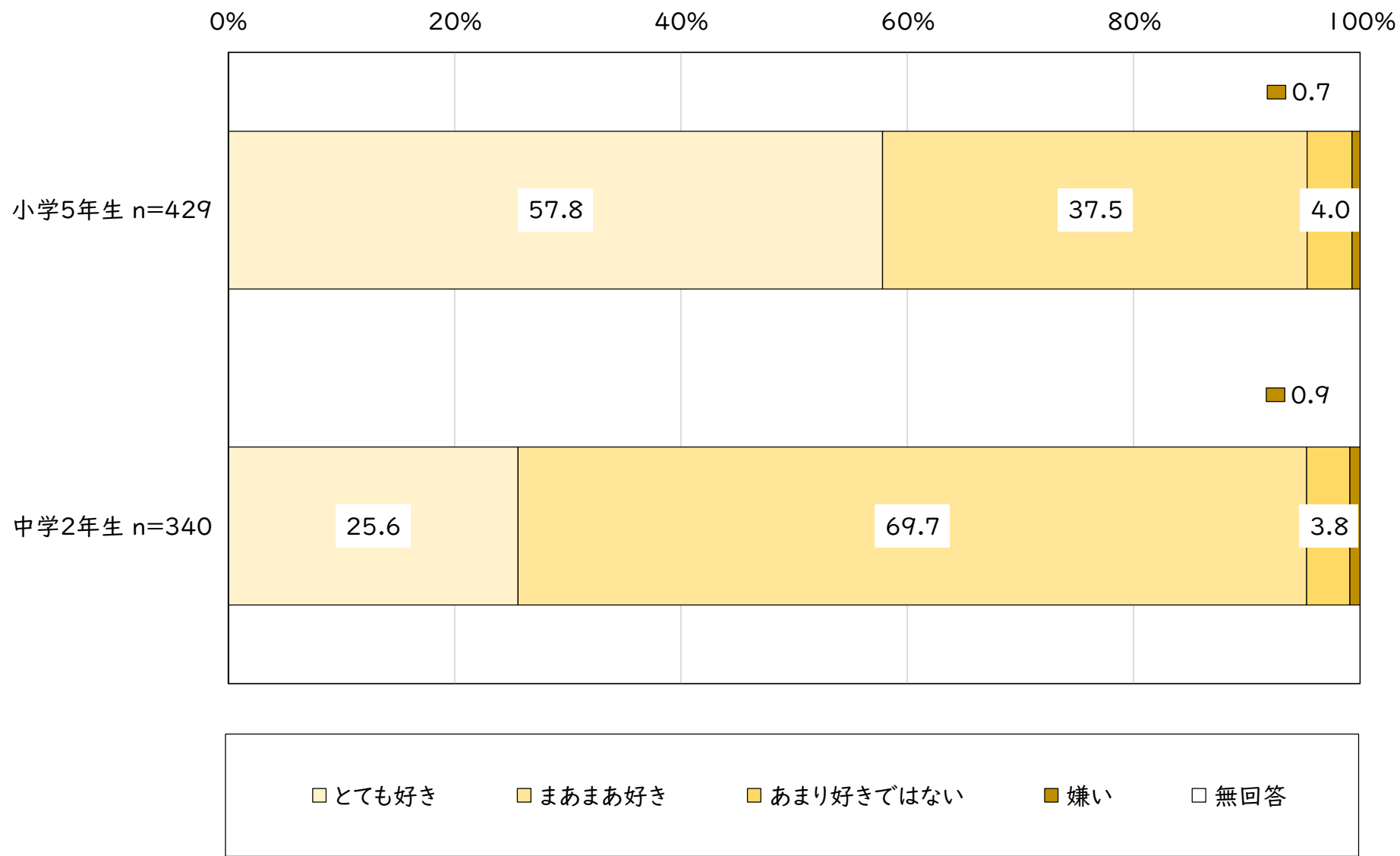
中学2年生 n=340



氏家中 喜連川中

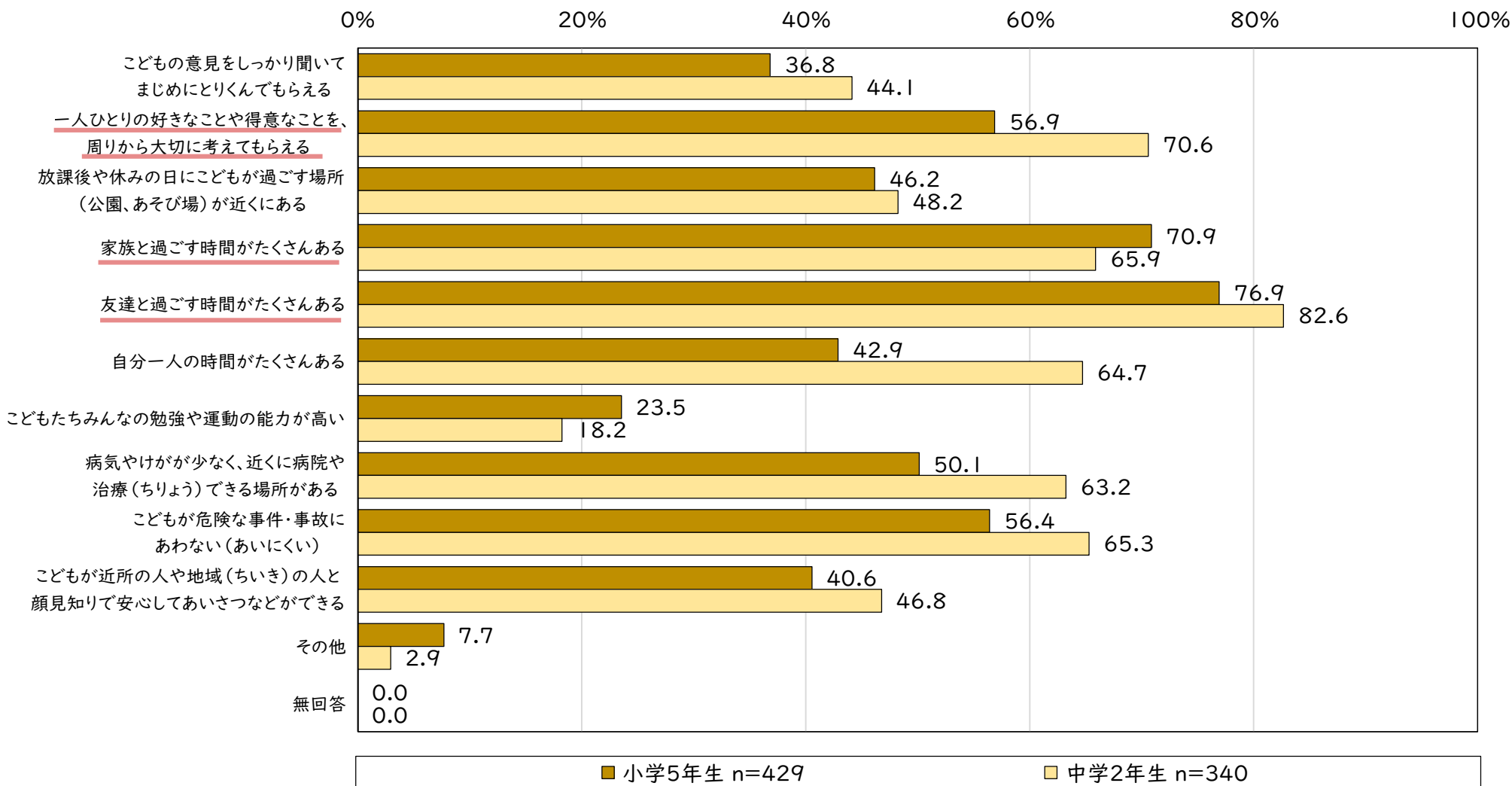
## 2. さくら市のことが好きですか。

「とても好き」「まあまあ好き」を合わせた割合が小学5年生及び中学2年生ともに95.3%となっています。



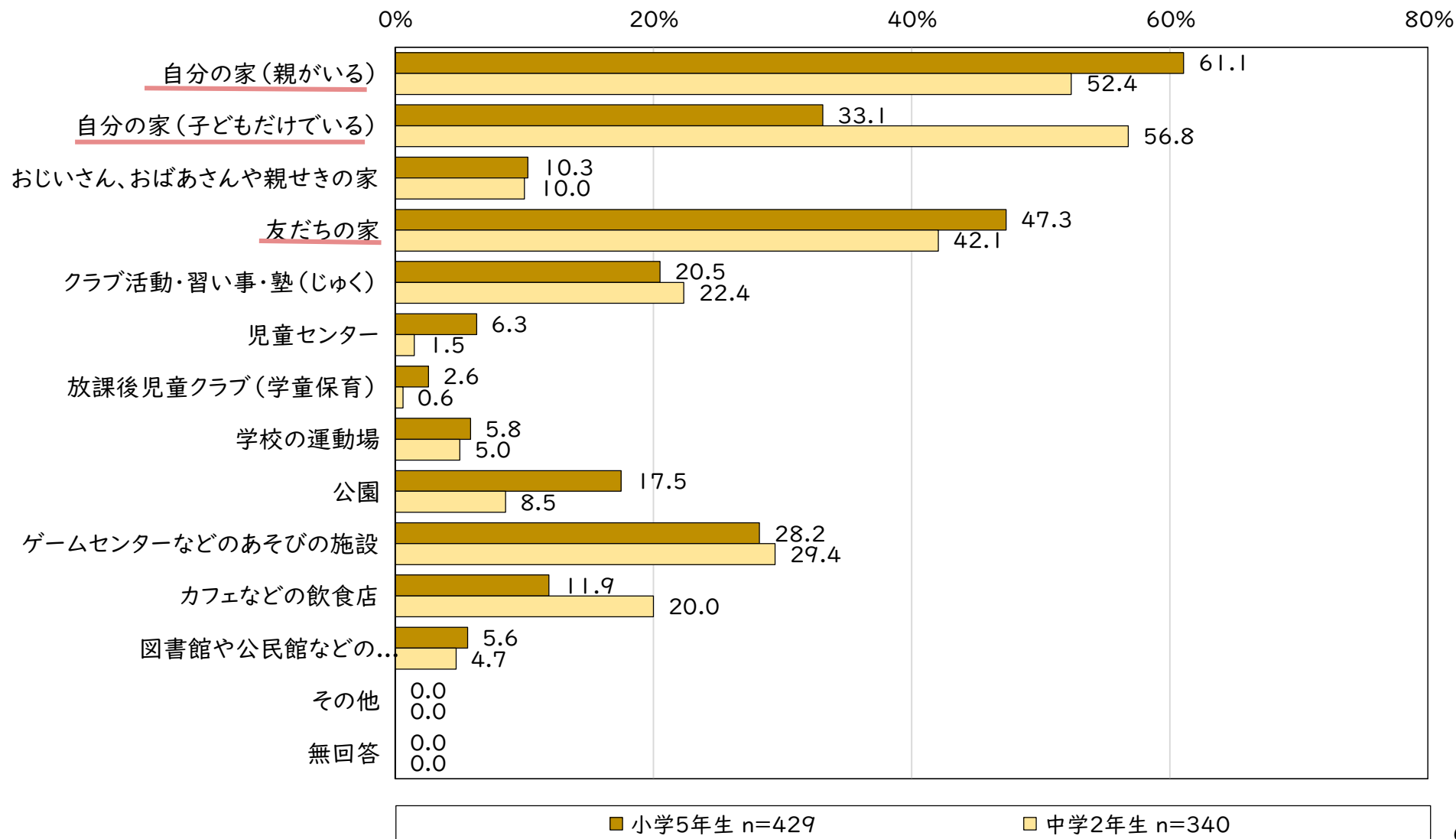
### 3. あなたにとっての「幸せ」とはどういったものですか(いくつでも)。

小学5年生では「友達と過ごす時間がたくさんある」が最も高く、次いで「家族と過ごす時間がたくさんある」、「一人ひとりの好きなことや得意なことを、周りから大切に考えてもらえる」となっています。中学2年生では「友達と過ごす時間がたくさんある」が最も高く、次いで「一人ひとりの好きなことや得意なことを、周りから大切に考えてもらえる」、「家族と過ごす時間がたくさんある」となっています。



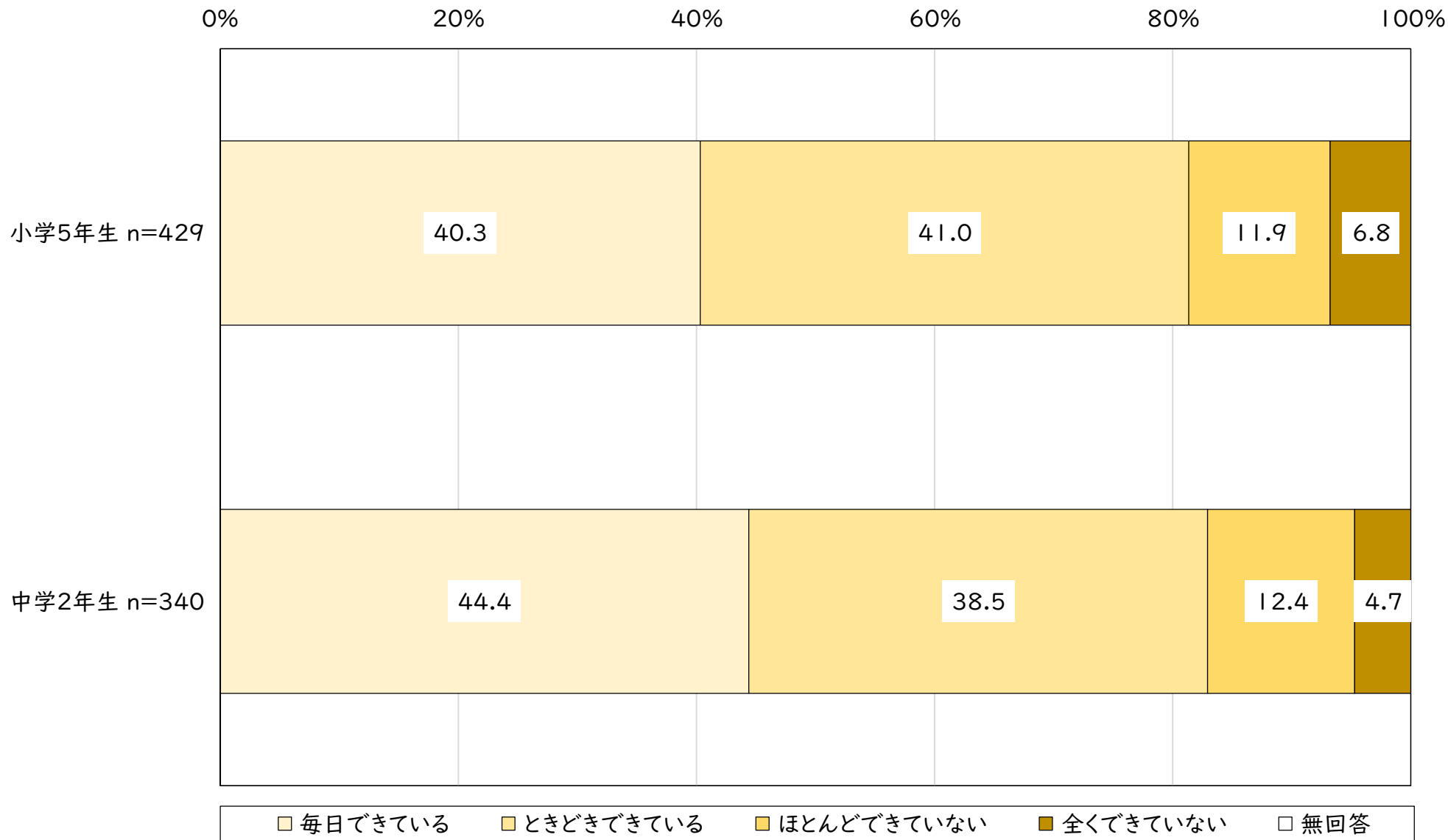
## 4. 放課後をどのような場所で過ごしたいと思いますか(3つまで)。

小学5年生では「自分の家(親がいる)」が最も高く、次いで「友だちの家」、「自分の家(子どもだけにいる)」となっています。中学2年生では「自分の家(子どもだけにいる)」が最も高く、次いで「自分の家(親がいる)」、「友だちの家」となっています。



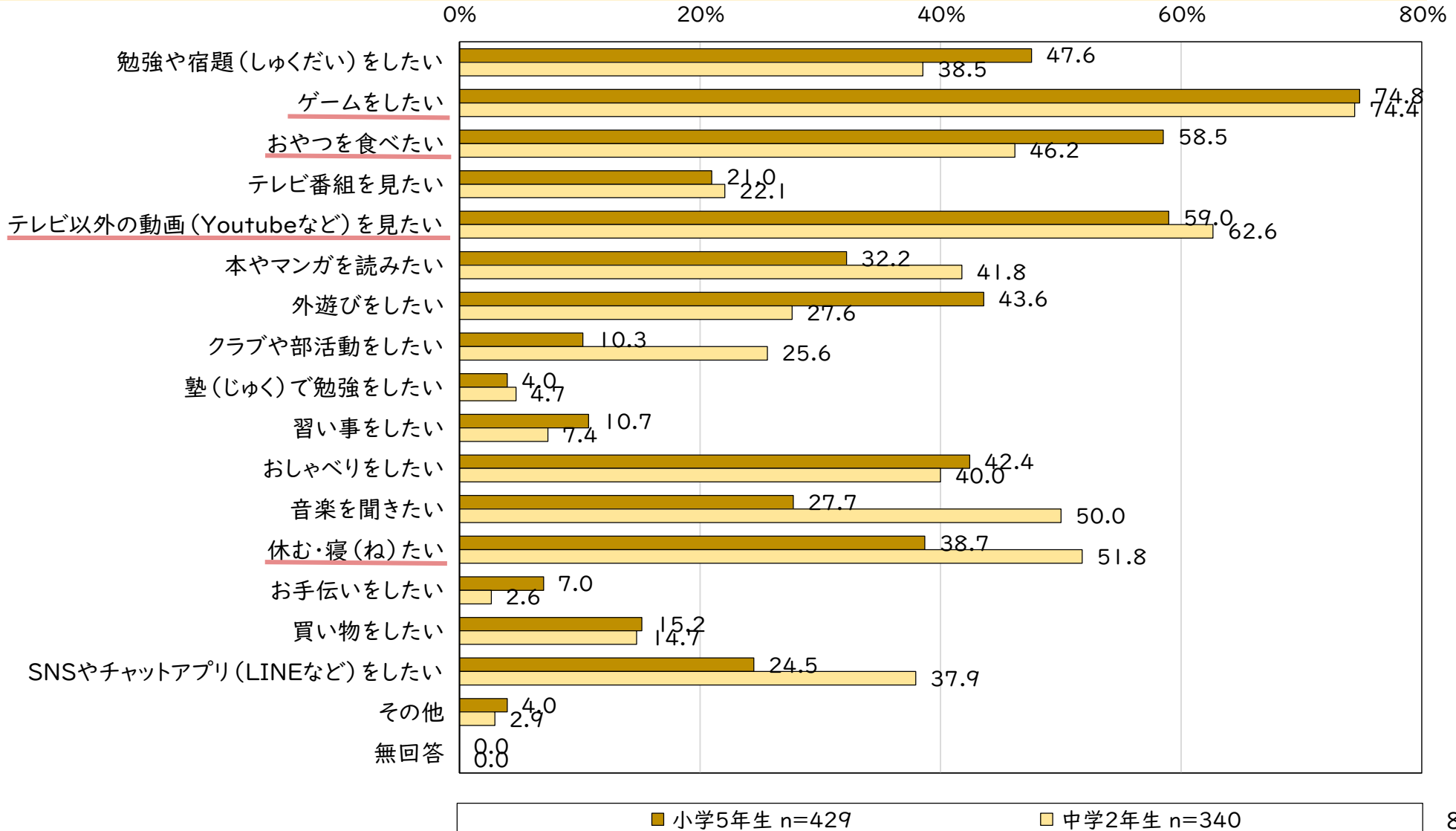
## 5. ふだんの放課後に自分の過ごしたい場所で過ごすことができますか。

「ほとんどできていない」、「全くできていない」を合わせた『できていない』の割合が小学5年生で18.7%、中学2年生で17.1%となっています。



## 6. ふだんの放課後に、自分の過ごしたい場所でどんなことをしたいですか（いくつでも）。

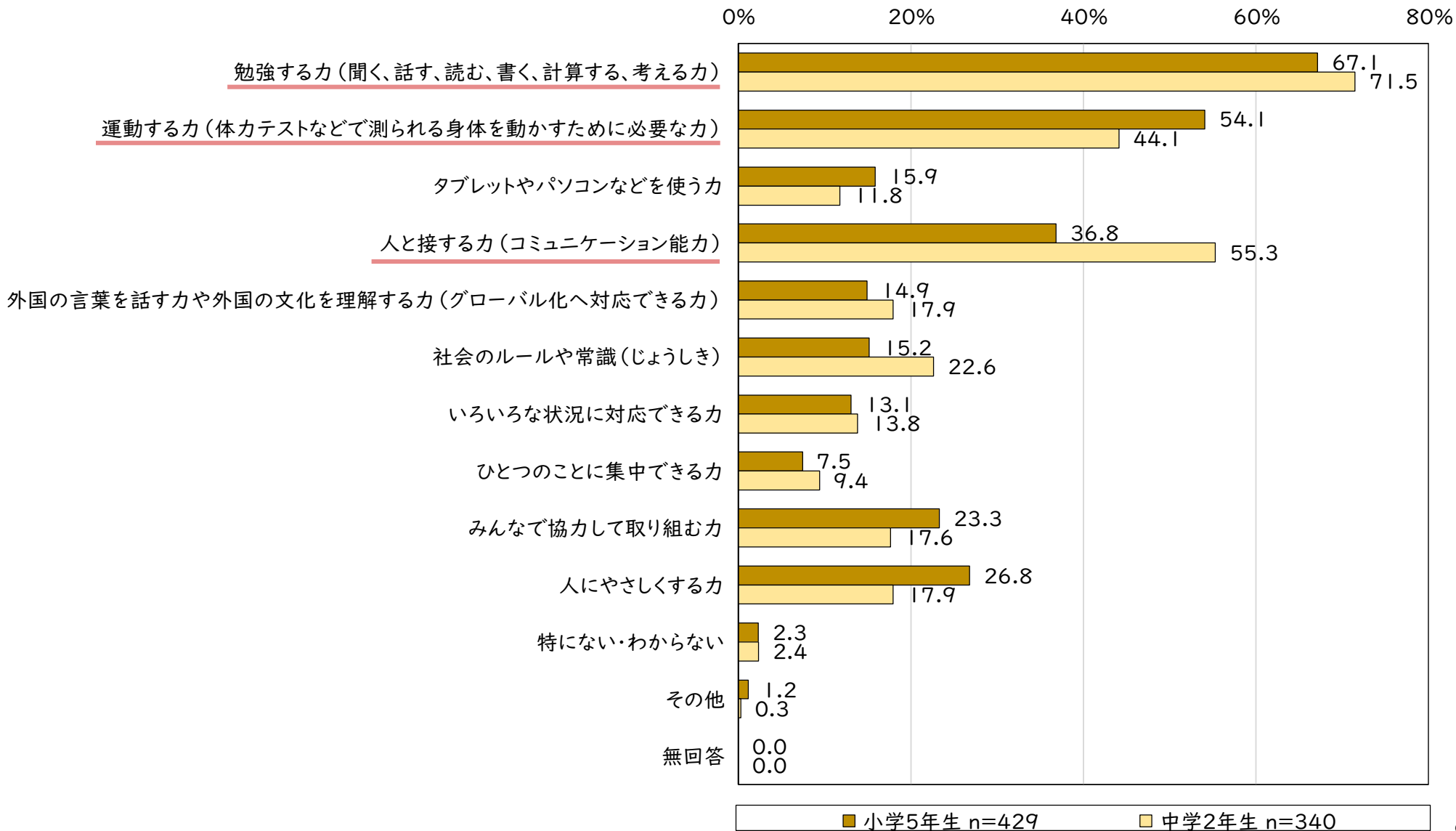
小学5年生では「ゲームをしたい」が最も高く、次いで「テレビ以外の動画を見たい」、「おやつを食べたい」となっています。中学2年生では「ゲームをしたい」が最も高く、次いで「テレビ以外の動画を見たい」、「休む・寝たい」となっています。





## 7. 学校生活でどんな力を身につけたいですか(3つまで)。

小学5年生では「勉強する力」が最も高く、次いで「運動する力」、「人と接する力」となっています。中学2年生では「勉強する力」が最も高く、次いで「人と接する力」、「運動する力」となっています。



## 8. 大人に伝えたいこと(自由記述)

小学5年生では「こどもの意見を聞いてほしい」が26件で最も多く、次いで「遊び場を増やしてほしい」が12件、「大人への感謝の気持ち」が8件となっています。中学2年生では「こどもの意見を聞いてほしい」が21件で最も多く、次いで「交通に関すること」「大人への感謝の気持ち」がともに2件となっています。

順位	小学5年生		中学2年生	
	意見	件数	意見	件数
1	こどもの意見を聞いてほしい	26件	こどもの意見を聞いてほしい	21件
2	遊び場を増やしてほしい	12件	交通に関すること	2件
3	大人への感謝の気持ち	8件	大人への感謝の気持ち	2件
4	交通に関すること	7件	休日を増やしてほしい	1件
5	自由にさせてほしい	7件	遊び場を増やしてほしい	1件
6	ゲームに関すること	5件	学習に関すること	1件
7	商業施設に関すること	5件	さくら市への要望	1件

# 計画への意見反映(主なもの)

## 1 放課後は自分の家や友達の家で過ごしたい

→歩道整備の際には、段差などが自転車の通行の妨げにならないよう配慮するなど、安心して外出できる環境の整備を促進します。  
「こども110番の家」の設置、通学路の点検などにより、こどもの安全確保に努めます。

## 2 遊び場を増やしてほしい

→南小学校地区に児童センターを整備します。屋根付きの無料で遊べる公園ですので、雨や暑い日でもたくさん遊べます。センターには遊びを教えてくれる職員もいます。また、子ども食堂など、地域でこどもたちが安心して過ごせる場所を増やすなど、「こどもの居場所づくり」に取り組みます。

## 3 こどもの意見を聞いてほしい

→こどもの意見を施策に具現化することで、意見を出すことに意義を感じてもらい、主体的にまちづくりに関わってもらえる仕組みをつくっていきます。  
また、毎年開催している「さくら市子ども・子育て会議」に多くの子育て支援関係団体の代表が集まりますので、いただいた意見を伝え、市の取り組みについて審議していきます。